

神田日勝記念館

神田日勝記念館 〒081-0292 北海道河東郡鹿追町東町3丁目2 TEL (01566) 6-1555

だより



晴れた日の風景 1968年

2000 3.31

No.12

平成十一年度後期展示替え

十一月二十三日(火)～四月二十三日(日)

展示期間

今年度は、北海道新聞社から「デッサン集」が刊行されることにあわせ、2F展示室において前期、後期の展示を通じて素描の紹介をしてきました。「デッサン集」で初公開となった作品が多数あり、それらの作品のほとんどがデッサン帖に描かれているため展示ケースによるデッサン帖ごとの展示となりました。また、既に発表されていた作品のなかでも当館では初めての展示となる作品も紹介しました。

これまで観ていた日勝の絵画世界を、これらの素描を通して観ることによって、思考の軌跡をたどりながら新たに堪能することができるのではないのでしょうか。



室内風景
1970(昭和45)年頃 コンテ/紙 23.7×20.2cm



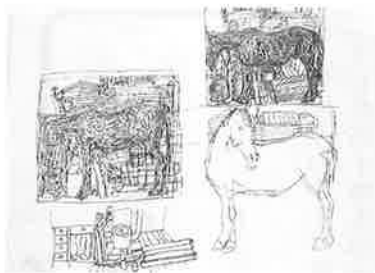
室内風景
1970(昭和45)年頃 鉛筆/紙 17.7×12.2cm



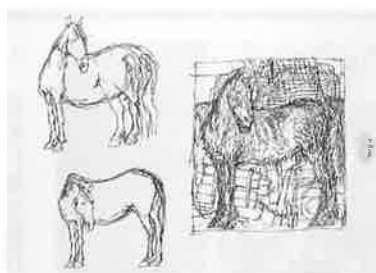
平成七年度より毎年冬休み期間中に開催している子ども絵画教室、油絵講座も五回目となりました。初めて油絵を描く子ども五名を含む九名の小中学生が受講しました。一昨年から引き続き出村英和先生を講師に迎え、瓶や模型の果物などを題材に静物画を描きました。熱心に制作に取り組み、三日間の講座を終えた子どもたちは「楽しかった」「また油絵を描きたい」と感想を話し、描き上げた作品を手に満足な様子でした。

子ども絵画教室 油絵講座

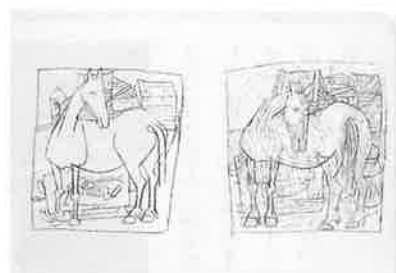
一月十一・十二・十三日
鹿追町民ホール



馬
ペン／紙 24.6×36.6cm



馬
ペン／紙 24.6×36.6cm



馬
鉛筆／紙 24.6×36.6cm



死馬
鉛筆／紙 24.8×34.3cm



死馬
鉛筆／紙 24.8×34.3cm



死馬
鉛筆／紙 24.8×34.3cm



雪の農場
1969(昭和44)年頃 ペン／紙 20.2×23.7cm



雪の農場
1969(昭和44)年頃 ペン／紙 20.2×23.7cm



雪の農場
1969(昭和44)年頃 ペン／紙 20.2×23.7cm



今年度二回目の絵画教室―油絵講座が、四日間の日程で出村英和先生を講師に迎えて開かれました。十月の教室に参加した一名を含む七名が受講しました。題材は、模型のパンや果物、野菜、コーヒークップ、牛乳瓶などの静物の中から好きなものを選んで構成して描きました。今回の講座には、油絵の経験がある方や他の画材で絵を描いたことがある方々が参加されたため、それぞれのペースで制作に取り込み、作品を描き上げました。

二月十五・十八・二十二・二十五日
神田日勝記念館

絵画教室
油絵講座

子どもワークショップ



「2000年アート」

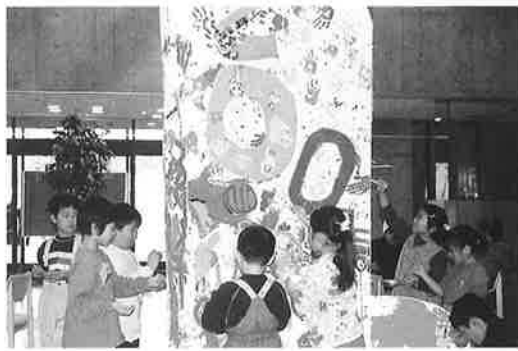


「しぼり染めを
してみよう！」

一月十一・十二日(火・水)鹿追町民ホール

三月二十日(木)鹿追町民ホール

冬休みのテーマは「2000年アート」。十七名の小学生が2000年を記念して、夢・希望をテーマにオブジェを制作しました。最初に凧を制作し、屋外で凧上げを楽しんだ後、ホール中央に立てられた高さ3.5m幅1.2mの段ボールの記念塔に手形をつけ、自由に絵を描きました。また別に用意された段ボールから「2000」の文字を切り取り、塔に飾り付け、塔を完成させました。



2000年の文字の入った連だこを四隅に配し、塔を完成させました。オブジェは一月十二日から二十三日までホールのロビーを飾り、訪れた人の目を引き付けていました。

春休みのテーマは「しぼり染めをしてみよう!」。小学生二十九名が参加。子どもたちはタマネギの皮を利用し、しぼり染めに挑戦。ビー玉やボタンを包み、ゴムでしぼった布を、タマネギの皮を煮詰めた鍋に入れて染めました。布に偶然出来た模様を友だちの布と見比べて、しぼり染めの楽しさを味わっていました。



子ども

芸術鑑賞ツアー

三月二十八日(火)北海道立帯広美術館

本年度は春休みを利用して、北海道立帯広美術館への芸術鑑賞ツアーが開催されました。参加者は小学生九名。初めにオリエンテーションを行い、帯広美術館と今回の展覧会の作品について、スライドを見ながら説明を受けました。コレクション・ギャラリーで開催中の「版画―技法と表現」展では、さまざまな技法で制作された版画作品を鑑賞しました。つづいて主展示室での「ロートレック、ミュシャ、カツサンドルとその時代 永遠のポスター芸術」展では、色鮮やかなポスター一四〇点により、19世紀から20世紀にかけてのポスター芸術の流れを鑑賞しました。



感想ノートより — ⑩

何の予備知識もなく見させていただきました。
馬の絵と牛の絵に涙がこぼれてしまいました。
こんな事は五十年ぶりか事です。感動しました。
ありがとうございます。 1999. 10. 10

10月15日(金)

神奈川から来ました。すばらしい美術館に地元で
かんぽの作家。神田日勝という名前を知りました。
又いつか訪ねたいです。

またまた来ました。何回来ても感動しちゃうよネ。
平成12年3月5日 (日) 富良野市 再江。

神田日勝の絵を見ておられていた
大事なことと思ひ出しました。僕も絵を
描くことが好きです。神田日勝が感じて
いたものそれは僕が全てを知ることば
きこえて来ないけれど心にあたたかさ
くれた感じがします。

2000 / 3月10日

3/26(日) この人の絵をみると、今まで身近にあった色々なものが
急に新鮮に見えたりする。すごい作品がたか
あると思う。 札幌市

第五回ふるさと
こども美術展巡回展

三月十六日～二十三日

鹿追町民ホール

後志管内木田金次郎美術館が、管内の小中学生を対象に実施している「ふるさとこども美術展」の第五回展入賞作品の巡回展が、町民ホールのロビー展の一環として神田日勝記念館友の会の主催で開催されました。

この作品展は、郷土の風景や自然のエネルギーを描き続けた木田金次郎にちなみ、子どもたちにもふるさとを見直し郷土を考えてもらいたいことを目的に行われていた事業で、本年度は七百三十三点の応募がありました。この巡回展には木田金次郎賞を受賞した佐藤亜希子さんの皿上の魚「ヤナギノマイ」を描いた静物を始め、

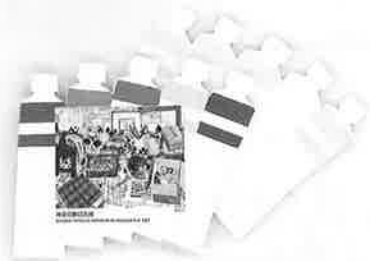


海・船・羊蹄山・人物・静物等の三十九点の力作が展示されました。
この企画は一昨年木田美術館で開催された「馬の絵作品展巡回展」の交換展として開催されたもので、小美術館の連携を図る意義あるものとなりました。

INFORMATION

メモ帳発売

今年度は、記念グッズとして一筆箋を作製し当館売店にて既に販売しており、続いてメモ帳を作製し販売しています。



平成12年度事業予定

- ・ 燕壘祭 (6/17)
- ・ 馬耕忌 (8/27)
- ・ 馬の絵作品展
- ・ 芸術鑑賞ツアー
- ・ 子ども芸術鑑賞ツアー
- ・ 絵画教室
- ・ 子ども絵画教室
- ・ 子どもワークショップ
- ・ 展覧会事業
 - グループ環 鹿追展 (4/29~5/7)
 - 新出紀久雄展 (8/12~20)
 - 山本時市遺作展 (8/22~28)

馬の絵が飛び出す!
子ども用パンフレット作成

神田日勝記念館では現在一般用と小中学生用の2種類のパンフレットを作成、入館された方々に窓口でお渡ししています。

従来の子ども用パンフレットの在庫切れにともないデザインを一新、A4判サイズ・3つ折りの体裁で、この冬より入館される小中学生を対象に配布しています。新しいパンフレットは、文章にふりがなを入れ、掲載作品を11点と大幅に増やし、画業の理解に配慮しています。また、切り取り線より切れめを入れるとパンフレット中央の「馬」(絶筆・未完成)が飛び出す遊びの要素を取り入れているのが特長です。

